

木造建築工事仕様書		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																								
I 工事概要 1 工事場所 2 地域地区 () 3 敷地面積 m ² 4 建物用途 5 棟別概要 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>建物名称</th> <th>建築種別</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>消防法の区分</th> <th>建築面積 (m²)</th> <th>延面積 (m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		No.	建物名称	建築種別	構造	階数	消防法の区分	建築面積 (m ²)	延面積 (m ²)	1								2								3								4								5								6								7								合 計								3 環境への配慮 4 特別な材料の工法及び製品 5 電気保安技術者 (1. 3. 3) 6 施工条件 (1. 3. 5) 7 発生材の処理等 (1. 3. 11)	本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和5年2月24日変更閣議決定)」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準を満たすものとする。 木標仕及び標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて、当該製品指定工法によることができる。 ・しまね・ハツ・建設ブランドに登録された下記工法又は製品を使用する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録技術</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	登録技術	適用箇所									11 工事写真 12 完成図 13 保全に関する資料 (1. 7. 3) 14 関連他工事 15 特定元方事業者の指名 16 施工図及び施工計画書 (1. 2. 2、3) 17 耐荷重及び耐外力	下記のものを出し出す。 仕様は、島根県建築工事写真取扱要領による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分類</th> <th>サイズ(mm)</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事中写真(着工前倉)</td> <td>* カラー</td> <td>* 80×120 程度</td> <td>1 部</td> </tr> <tr> <td>完成写真</td> <td>* カラー</td> <td>外部全景 * 120×170 程度 その他 * 80×120 程度</td> <td>1 部</td> </tr> <tr> <td>電子データ(CD-R等)</td> <td>デジタルカメラを使用した場合は、工事中写真及び完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。</td> <td></td> <td>1 部</td> </tr> </tbody> </table> (注) フィルムカメラを使用する場合は監督職員と協議する。 下記のものを出し出す。 仕様は、島根県建築工事完成図取扱要領による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名・仕様</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>複写 * 竣工図 製本サイズ(* A3縮小版) 白焼</td> <td>1 部</td> </tr> <tr> <td>図表装(* レザック表紙(ラミネート仕上げ))</td> <td>1 部</td> </tr> <tr> <td>* 電子データ(PDFデータ、CADデータ、施工図)(CD-R等)</td> <td>1 部</td> </tr> </tbody> </table> 製本の取りまとめについては監督職員の指示による。 設計に関するCADデータを貸与するが、著作権者は、 <u>島根県</u> にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>書類名</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築物等の利用に関する説明書(建築物等の利用に関する説明書作成要領による)</td> <td>* 1 部</td> </tr> <tr> <td>機器取扱い説明書</td> <td>1 部</td> </tr> <tr> <td>機器性能試験成績書</td> <td>1 部</td> </tr> <tr> <td>官公署等届出書類</td> <td>1 部</td> </tr> <tr> <td>その他監督職員が指示するもの</td> <td>1 部</td> </tr> <tr> <td>建築物等の利用に関する説明書の電子データ(CD-R等)</td> <td>* 1 部</td> </tr> </tbody> </table>	区分	分類	サイズ(mm)	提出部数	工事中写真(着工前倉)	* カラー	* 80×120 程度	1 部	完成写真	* カラー	外部全景 * 120×170 程度 その他 * 80×120 程度	1 部	電子データ(CD-R等)	デジタルカメラを使用した場合は、工事中写真及び完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。		1 部	品名・仕様	提出部数	複写 * 竣工図 製本サイズ(* A3縮小版) 白焼	1 部	図表装(* レザック表紙(ラミネート仕上げ))	1 部	* 電子データ(PDFデータ、CADデータ、施工図)(CD-R等)	1 部	書類名	提出部数	建築物等の利用に関する説明書(建築物等の利用に関する説明書作成要領による)	* 1 部	機器取扱い説明書	1 部	機器性能試験成績書	1 部	官公署等届出書類	1 部	その他監督職員が指示するもの	1 部	建築物等の利用に関する説明書の電子データ(CD-R等)	* 1 部	2 仮設工事 3 現場事務所 4 工所用電力、水、その他 5 仮囲い及び出入口 6 養生シート 7 洗車場 8 木製安全施設製品(県産木材製品)	「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」による。 設置する 面積: m ² 程度 仕上げ: 備品: 設備: 設置できる (・敷地内 ・敷地外(設置可能場所:)) 構内既存の施設 工用水 ・利用できる(有償) ・利用できない 工用電力 ・利用できる(有償) ・利用できない 設置箇所、材質、構造及び設置期間は図示による。 設置範囲 ・図示の位置 ・外部足場全面 養生シートの種別 ・養生シート ・ 防炎Ⅰ類 ・ 防炎Ⅱ類 ・ ネット状養生シート ・ 防炎Ⅰ類 ・ 防炎Ⅱ類 設置箇所、材質、構造及び設置期間は図示による。 * 工用看板 (表示板 1, 400mm×500mm用) 2台 * 工用バリケード 5台 ・ 工用標示板 (表示板 1, 400mm×1,100mm用) 1台 (注) 取扱いは平成25年3月8日付第945号による
No.	建物名称	建築種別	構造	階数	消防法の区分	建築面積 (m ²)	延面積 (m ²)																																																																																																																								
1																																																																																																																															
2																																																																																																																															
3																																																																																																																															
4																																																																																																																															
5																																																																																																																															
6																																																																																																																															
7																																																																																																																															
合 計																																																																																																																															
登録技術	適用箇所																																																																																																																														
区分	分類	サイズ(mm)	提出部数																																																																																																																												
工事中写真(着工前倉)	* カラー	* 80×120 程度	1 部																																																																																																																												
完成写真	* カラー	外部全景 * 120×170 程度 その他 * 80×120 程度	1 部																																																																																																																												
電子データ(CD-R等)	デジタルカメラを使用した場合は、工事中写真及び完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。		1 部																																																																																																																												
品名・仕様	提出部数																																																																																																																														
複写 * 竣工図 製本サイズ(* A3縮小版) 白焼	1 部																																																																																																																														
図表装(* レザック表紙(ラミネート仕上げ))	1 部																																																																																																																														
* 電子データ(PDFデータ、CADデータ、施工図)(CD-R等)	1 部																																																																																																																														
書類名	提出部数																																																																																																																														
建築物等の利用に関する説明書(建築物等の利用に関する説明書作成要領による)	* 1 部																																																																																																																														
機器取扱い説明書	1 部																																																																																																																														
機器性能試験成績書	1 部																																																																																																																														
官公署等届出書類	1 部																																																																																																																														
その他監督職員が指示するもの	1 部																																																																																																																														
建築物等の利用に関する説明書の電子データ(CD-R等)	* 1 部																																																																																																																														
II 工事仕様 1 共通事項 (1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築木造工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「木造標準仕様書」という)及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「標準仕様書」という)による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。 2 特記事項 (1) 章及び項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は○印を適用する。 ○印の無い場合は、*印のあるものを適用する。 ○印と⊕印のある場合はともに適用する。 (3) 特記事項に記載の()内表示番号は、木標仕の当該項目・図または表を示す。特記事項に記載の<>内表示番号は、標準仕様書の当該項目・図または表を示す。		8 交通安全管理 (1. 3. 8) 9 技能士の適用 (1. 5. 2) 10 化学物質の濃度測定 (1. 5. 9)	以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。 配置する位置は別に図示する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>人・日数</th> <th>交通安全管理の必要な作業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通誘導員A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通誘導員B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通整理員</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (注) 交通誘導員A、Bは警備業法に定める警備員とし、交通整理員については資格を問わない。 取扱いは「建築工事における交通誘導員等の取扱い基準」(営繕課HP掲載)による * 技能士制度の趣旨を十分理解の上、積極的な活用に努めること。 下記により測定し、その結果を監督職員に報告する。 測定化学物質名: ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・ステレン ・パラジクロロベンゼン 測定方法: ・営繕工事におけるホルムアルデヒド等測定要領 ・学校施設の工事における環境衛生検査の濃度測定要領 ・住宅性能表示制度に基づく測定方法(ただし書きによる測定方法を含む) 測定箇所: 箇所 測定対象室:	名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等	交通誘導員A			交通誘導員B			交通整理員			1 埋戻し及び盛土の種別 <<3. 2. 3>> 2 建設発生土の処理 <<3. 2. 5>> 3 山留め <<3. 3. 2>> <<3. 3. 3>> 4 支持地盤等 <<4. 2. 4>> 5 杭共通事項 <<4. 2. 2>> <<4. 3. 4、5>> <<4. 4. 4>> <<4. 5. 5、6>>	埋戻し ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 <<表3. 2. 1>> ・ (材料:) 工法: 盛土 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 <<表3. 2. 1>> (C種の場合の詳細は、現場説明書による。) ・ (材料:) 工法: * 現場説明書による 工法等() 存置 ・ する * しない 鋼矢板等の抜き跡の処理工法 * 砂を充填する ・ 直接基礎 支持地盤の位置及び土質(基礎底部の位置含む) * 図示による ・ 試験掘り(掘切り底の状態の確認等) 位置は図示による ・ 地盤の平板載荷試験 載荷試験の方法 * 地盤工学会基準 JGS 1521による ・ 図示による 試験の位置、載荷荷重 * 図示による 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) * 図示による 試験杭 試験杭の位置 * 図示による 杭の支持層への根入れ長さ * 図示による 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 図示による 杭の鉛直度 ・ 1/100以内 ・ 図示による																																																																																																														
名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等																																																																																																																													
交通誘導員A																																																																																																																															
交通誘導員B																																																																																																																															
交通整理員																																																																																																																															
章 項 目	特 記 事 項	図 面 番 号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設 計 ・ 年 月	担 当 者	設 計 者																																																																																																																							
		()		仕様書 1																																																																																																																											

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	
23	セメント 《6. 3. 1》	種類 *普通セメント、高炉セメントA種、シカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 普通セメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする ・高炉セメントB種 適用箇所() ・フライアッシュセメントB種 適用箇所()			・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 *図示による ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 *図示による 打増し厚さ ・20mm ・()mm 打増し範囲 *図示による ・スリーブの材種・規格等 *図示による			・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしる層の工法 ・燃えしる層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしる層への二次部材の取付け 燃えしる層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしる層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による			ボルト、ナット及び座金 材料 *木造標準仕様書表5.2.2による 寸法 *図示による 座金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表5.2.3 ()種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書表5.2.4 ()種 表面処理 *図示による アンカーボルト、ナット及び座金 材質 *図示による 寸法 *図示による 座金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表5.2.3 ()種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書表5.2.4 ()種 表面処理 *図示による Z、C、X、D、Sマーク表示金物	
24	骨材 《6. 3. 1》	7)カサ反応性による区分 *A ・B	4 木 造 工 事	1 防霉・防蟻処理 (4. 2. 1~3)	適用部位 処理の種類及び処理の方法 防霉・防蟻処理が 薬剤の加圧注入 薬剤の塗布等 不要な樹種 ・ K2・K3・K4 ・行う					6 ラグスクリュー (5. 2. 4) (5. 5. 11)	Z、C、X、D、Sマーク表示金物 種類 Z、C、X、D、Sマークの規格 その他 ・ラグスクリュー ・	
25	混和材料 《6. 3. 1》	・混和剤 混和剤の種類 *標準仕様書 6.3.1(4)(a)による ・図示による ・混和材 混和材の種類 *標準仕様書 6.3.1(4)(b)による ・図示による		インサイジング ・適用する ・適用しない ・薬剤の塗布等による処理 薬剤の種類 *図示による 適用部位 *図示による 処理の方法 *木造標準仕様書4.2.1(4)(b)による ・図示による								
26	寒中コンクリート 《6. 11. 1、2》	適用期間 *図示による 構造体強度補正值 ・積算温度を基に定める場合() ・標準仕様書6.11.2(3)(7)による ・図示による		2 防霉措置 (4. 2. 4)	適用部位 処理の方法							
27	暑中コンクリート 《6. 12. 2》	構造体強度補正值 *6N/mm2 *図示による		基礎外周部の換気孔 ・ねこ土台 材質等() *防鼠スクリーン又は防虫網 ・換気孔 *防鼠スクリーン又は防虫網								
28	マスコンクリート 《6. 13. 1、2》	適用箇所 *図示による セメントの種類 ・普通セメント、中庸熱セメント、低熱セメント ・高炉セメントB種、フライアッシュセメントB種、シカセメント 混和材料 ・混和剤 混和剤の種類 *標準仕様書 6.13.2(2)(7)による ・図示による ・混和材 混和材の種類 *標準仕様書 6.13.2(2)(4)による ・図示による スランブ *15cm ・()cm 構造体強度補正值 *標準仕様書表6.13.1による *図示による		3 耐火処理等 (4. 3. 1~4)	・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入 (K3) による 防霉・防蟻処理 適用部位 *図示による ・地盤に接する鉄筋コンクリートによる床下の防蟻処理 適用は木造標準仕様書4.2.2 ・(7)による ・(4)による ・地盤の土壌の防蟻処理 使用する薬剤 有効成分の系統 () 剤の種類 ・液剤 ・粒剤 処理方法及び使用量 ・帯状散布 (帯状の幅:約20cm) 液剤:処理長さ1L/m 粒剤: () ・面状散布 液剤:3L/m2 粒剤: ()							
29	無筋コンクリート 《6. 14. 1》	コンクリートの種類 *普通コンクリート ・() セメントの種類 *普通セメント、高炉セメントA種、シカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 設計基準強度 *18N/mm2 ・()N/mm2 スランブ *15cm又は18cm ・()cm 適用箇所 *標準仕様書 6.14.1(4)(7)~(h)による ・図示による		基礎内周部の換気孔 ・換気孔の大きさ *図示による								
30	流動化コンクリート 《6. 15. 1》	適用箇所 *図示による		・国土交通大臣の認定を受けた材料又は工法 () 防火被覆の材料および工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆材の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による								
31	打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 《6. 6. 4》 《6. 8. 1》	打継ぎの位置 *標準仕様書6.6.4(1)による *図示による 目地寸法 *標準仕様書 9.7.3(1)(7)による *図示による ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 *図示による		小屋裏換気方法は木造標準仕様書4.2.4(3) ・(a) ・(b) ・(c) ・(d) ・(e) 換気孔の大きさ *図示による								
32	構造体コンクリートの仕上り 《6. 2. 5》	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ *図示による コンクリートの仕上りの平たんさ *図示による		・国士交通大臣の認定を受けた材料又は工法 () 防火被覆の材料および工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆材の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による								
33	打増し厚さ(打放し仕上げ部) 《6. 8. 1》	・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) *20mm ・()mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・()mm ・外装タイル面の打増し処理 *20mm ・床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う *10mm ・20mm ・()mm		木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ 種類 材質 その他 ・十字穴付き木ねじ ステンレス製 JIS B 1112 ・すりわり付き木ねじ ステンレス製 JIS B 1135								
34	型枠 《6. 8. 2》	せき板の材料及び厚さ *合板 厚さ *12mm ・()mm ・メッシュ型枠(使用部位 *図示による) ・床型枠用鋼製デッキプレート(施工範囲 *図示による)	5 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 (5. 2. 4) (5. 5. 10)									
5	軸組構法(壁構造系)工事											
6	ラグスクリュー (5. 2. 4) (5. 5. 11)											
7	ドリフトピン (5. 2. 4) (5. 5. 12)											
8	木栓及び木だぼ (5. 2. 4) (5. 5. 13)											
9	接着剤 (5. 2. 4)											
10	孔あけ加工 (5. 4. 3)											
11	表面の仕上げ (5. 4. 4) (18. 13. 2)											
12	アンカーボルトの設置等 (5. 5. 3)											
13	基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ (5. 5. 4) (15. 3. 2)											
14	建方精度 (5. 5. 6)											
図面番号		工事名		図面種別		縮尺		設計・年月		担当者		
()				仕様書3						設計者		

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項					
6 軸 組 構 法 （ 軸 構 造 系 ） 工 事	15 接合金物の工法 (5. 5. 8)	熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 (JIS A 9526) ・ ()	6 ラ グ ス ク リ ュー (6. 2. 4)	ボルト、ナット及び座金 材料 * 木造標準仕様書表6. 2. 2による 寸法 * 図示による 座金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表6. 2. 3 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書表6. 2. 4 () 種 表面処理 * 図示による アンカーボルト、ナット及び座金 材質 * 図示による 寸法 * 図示による 座金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表6. 2. 3 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書表6. 2. 4 () 種 表面処理 * 図示による	16 接合金物の工法 (6. 5. 9)	熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 (JIS A 9526) ・ ()	7 ド リ フ ト ピ ン (6. 2. 4) (6. 5. 13)	Z、C、 χ 、D、Sマーク表示金物 種類 Z、C、 χ 、D、Sマークの規格 その他 ・ラグスクリュー ・ ・	17 釘及び木ねじの工法 (6. 5. 10)	構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け * 木ねじ頭埋め木	18 輪型ジベル (6. 5. 15)	輪型ジベル 種類 材質・形状・寸法等 ・	5 接着剤 (7. 2. 4)	・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ()		
	16 釘及び木ねじの工法 (5. 5. 9)	構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け * 木ねじ頭埋め木		ドリフトピン 種類 材質等 径・寸法等 表面処理 ・ドリフトピン * SS400 * 丸鋼 ・ ・		17 釘及び木ねじの工法 (6. 5. 10)		構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け * 木ねじ頭埋め木		18 輪型ジベル (6. 5. 15)		輪型ジベル 種類 材質・形状・寸法等 ・		6 アンカーボルトの 設置等 (7. 5. 3)	埋込み深さ * 図示による 保持、及び埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 * $\pm 5\text{mm}$ * 図示による	
	17 火打土台 (5. 6. 2)	・木材の火打土台 ・鋼製火打土台		木栓及び木だぼ 種類 樹種 形状・長さ等 その他 ・木栓 ・木だぼ		19 圧入型ジベル (6. 5. 16)		圧入型ジベル 種類 材質・形状・寸法等 ・		19 火打土台 (6. 6. 2)		・木材の火打土台 ・鋼製火打土台		7 基礎天端均し モルタルの仕上げ (7. 5. 4)	材料 ・木造標準仕様書7. 5. 4(i)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ * 図示による	
	18 火打梁 (5. 7. 8) (5. 8. 6)	小屋組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁		9 接着剤 (6. 2. 4)		・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ()		20 火打土台 (6. 6. 2)		・木材の火打土台 ・鋼製火打土台		8 床束 (6. 8. 2)		・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束	8 床束 (7. 7. 2)	・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束
	19 床束 (5. 8. 2)	・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束		10 現寸図 (6. 4. 2)		* 床書き現寸図を作成する		21 火打梁 (6. 7. 8) (6. 8. 6)		小屋組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁		7 樫組壁 工 法 工 事		1 木材 (7. 2. 2. 3)	枠組壁構法工事に使用する木材は、使用材料表5による	8 丸太組 構 法 工 事
6 軸 組 構 法 （ 軸 構 造 系 ） 工 事	1 木材 (6. 2. 2)	軸組構法(軸構造系)工事に使用する木材は、使用材料表3による	8 木 栓 及 び 木 だ ぼ (6. 2. 4)	木栓及び木だぼ 種類 樹種 形状・長さ等 その他 ・木栓 ・木だぼ	22 床束 (6. 8. 2)	・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束	3 接合金物 (6. 2. 4)	Z、C、 χ 、D、Sマーク表示金物 種類 Z、C、 χ 、D、Sマークの規格 短期許容耐力(kN) その他 ・火打金物 ・筋かいプレート ・引き寄せ金物 ・梁受け金物 ・ ・ ・	7 樫組壁 工 法 工 事	1 木材 (7. 2. 2. 3)	枠組壁構法工事に使用する木材は、使用材料表5による	8 丸太組 構 法 工 事	2 丸太組壁以外に 用いる木材 (8. 2. 3)	丸太組壁以外に使用する木材は、使用材料表6による		
	2 構造用面材 (6. 2. 3)	軸組構法(軸構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表4による		11 孔あけ加工 (6. 4. 5)		ボルト孔の径 * 木造標準仕様書表6. 4. 1による ・ 図示による ドリフトピンの孔径 * ピン径と同径 ・ 図示による		2 釘及び木ねじ (7. 2. 4)		釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 種類 材質 その他 ・鉄丸くぎ 表面処理された鉄 ・太め鉄丸くぎ 表面処理された鉄 ・ステンレス鋼くぎ ステンレス製 ・ ・	3 構造用面材 (8. 2. 4)		丸太組構法に使用する構造用面材は、使用材料表7による	3 構造用面材 (8. 2. 4)	丸太組構法に使用する構造用面材は、使用材料表7による	
	3 接合金物 (6. 2. 4)	・Z、C、 χ 、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 * 図示による Z、C、 χ 、D、Sマーク表示金物 種類 Z、C、 χ 、D、Sマークの規格 短期許容耐力(kN) その他 ・支柱高さ調整金物 ・ ・		12 表面の仕上げ (6. 4. 6) (18. 12. 2)		見え掛り面の表面の仕上げの程度 ・製材 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 (表6. 4. 2) 手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (表6. 4. 4) ・構造用集成材 機械加工 ・A種 ・B種 (表6. 4. 3) ・木材保護塗料塗り 施工箇所 * 図示 種別 ・A種 ・B種		3 接合金物 (7. 2. 4)		Z、C、 χ 、D、Sマーク表示金物 種類 Z、C、 χ 、D、Sマークの規格 短期許容耐力(kN) その他 ・引き寄せ金物 ・梁受け金物 ・ ・	4 接合金物 (8. 2. 5)		M、Z、C、D、Sマーク表示金物 種類 M、Z、C、D、Sマークの規格 短期許容耐力(kN) その他 ・ ・	4 接合金物 (8. 2. 5)	M、Z、C、D、Sマーク表示金物 種類 M、Z、C、D、Sマークの規格 短期許容耐力(kN) その他 ・ ・	
	4 釘及び木ねじ (6. 2. 4) (6. 5. 10)	釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 種類 材質 その他 ・鉄丸くぎ 表面処理された鉄 ・太め鉄丸くぎ 表面処理された鉄 ・ステンレス鋼くぎ ステンレス製 ・ ・		13 アンカーボルトの 設置等 (6. 5. 3)		埋込み深さ * 図示による 保持、及び埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 * $\pm 5\text{mm}$ * 図示による		3 接合金物 (7. 2. 4)		Z、C、 χ 、D、Sマーク表示金物 種類 Z、C、 χ 、D、Sマークの規格 短期許容耐力(kN) その他 ・引き寄せ金物 ・梁受け金物 ・ ・	5 だぼ (8. 2. 5)		Zマーク表示金物 種類 Zマークの規格等 その他 ・ラグスクリューだぼ ・ ・	5 だぼ (8. 2. 5)	Zマーク表示金物 種類 Zマークの規格等 その他 ・ラグスクリューだぼ ・ ・	
	5 ボルト、アンカー ボルト、ナット及び 座金 (6. 2. 4) (6. 5. 11)	Z、C、 χ 、D、Sマーク表示金物 種類 Z、C、 χ 、D、Sマークの規格 その他 ・アンカーボルト ・六角ボルト ・座金 Z、C、 χ 、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、 χ 、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 * 図示による		14 基礎天端及び柱底均 しモルタルの仕上げ (6. 5. 4) (15. 3. 2)		材料 ・木造標準仕様書5. 5. 4(i)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ * 図示による 柱底均しモルタルの厚さ * B種 ・A種		4 ボルト、アンカー ボルト、ナット及び 座金 (7. 2. 4) (7. 5. 8)		C、Z、 χ 、D、Sマーク表示金物 種類 C、Z、 χ 、D、Sマークの規格 その他 ・アンカーボルト ・六角ボルト ・座金 C、Z、 χ 、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・C、Z、 χ 、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 * 図示による	6 ジャッキボルト (8. 2. 5)		ジャッキボルト 種類 材質等 寸法・形状 表面処理 ・ ・SS400 図示による ・ ・ 図示による	6 ジャッキボルト (8. 2. 5)	ジャッキボルト 種類 材質等 寸法・形状 表面処理 ・ ・SS400 図示による ・ ・ 図示による	
図面番号 ()	工 事 名	図面種別 仕様書 4	縮 尺	設計・年月	担 当 者	設 計 者										

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項			
8	釘及び木ねじ (8. 2. 5)	釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 種類 材質 その他 ・鉄丸くぎ 表面処理された鉄 ・太め鉄丸くぎ 表面処理された鉄 ・ステンレス鋼くぎ ステンレス製	16 丸太組壁以外に設ける木材の表面仕上げ (8. 4. 6) (18. 12. 2) (18. 13. 2) 見え掛り面の表面の仕上げの程度 ・製材 機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (表8. 4. 5) ・構造用集成材 機械加工 ・ A種 * B種 (表8. 4. 6) ・丸太材 機械加工 ・ A種 ・ B種 (表8. 4. 7) ・木材保護塗料塗り 施工箇所 * 図示 種別 ・ A種 * B種	17 継手の方法 (8. 4. 7) 丸太組壁用木材に設ける継手の方法 * 木造標準仕様書8.4.7(2) 図示による	4 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 (9. 2. 3) (9. 5. 11) 木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ 種類 材質 その他 ・十字穴付き木ねじ ステンレス製 JIS B 1112 ・すりわり付き木ねじ ステンレス製 JIS B 1135	13 接合金物の工法 (9. 5. 9) 熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ () 14 釘及び木ねじの工法 (9. 5. 10) 構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け * 木ねじ頭埋め木	9 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 (8. 2. 5) M、Zマーク表示金物 種類 M、Zマークの規格等 ・アンカーボルト ・座金 M、Zマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・M、Zマーク表示金物以外の接合金物 * 図示による ボルト、ナット及び座金 材料 * 木造標準仕様書表8.2.6による 寸法 * 図示による 座金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表8.2.7 ()種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書表8.2.8 ()種 表面処理 * 図示による アンカーボルト、ナット及び座金 材質 * 図示による 寸法 * 図示による 座金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表8.2.7 ()種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書表8.2.8 ()種 表面処理 * 図示による	10 通しボルト、高ナット及び座金 (8. 2. 5) Mマーク表示金物 種類 Mマークの規格等 ・通しボルト Mマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Mマーク表示金物以外の接合金物 * 図示による	10 木工事 1 材料 (10. 2. 2) (10. 2. 3) (10. 2. 4) 木工事に使用する木材は、使用材料表9による 木工事に使用する合板等は、使用材料表10による ・釘 ・ JIS A 5508 材質 () ・ JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質 () ・ 造作材化粧面の釘打ち * 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・釘頭現し ・ 木ねじ ・ JIS B 1112又は JIS B 1135 材質 * ステンレス ・ JIS B 1112又は JIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質 () ・ 見え掛り面の表面の仕上げの程度 製材 機械加工 (・ A種 ・ B種 ・ C種)(表10. 1. 1) ・ 手加工 (表10. 1. 2) * 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 造作用集成材 ・ 機械加工 (・ A種 ・ B種 ・ C種)					
										M、Zマーク表示金物	Mマーク表示金物	Mマーク表示金物	1 材料 (10. 2. 2) (10. 2. 3) (10. 2. 4) 木工事に使用する木材は、使用材料表9による 木工事に使用する合板等は、使用材料表10による ・釘 ・ JIS A 5508 材質 () ・ JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質 () ・ 造作材化粧面の釘打ち * 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・釘頭現し ・ 木ねじ ・ JIS B 1112又は JIS B 1135 材質 * ステンレス ・ JIS B 1112又は JIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質 () ・ 見え掛り面の表面の仕上げの程度 製材 機械加工 (・ A種 ・ B種 ・ C種)(表10. 1. 1) ・ 手加工 (表10. 1. 2) * 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 造作用集成材 ・ 機械加工 (・ A種 ・ B種 ・ C種)	
										2 表面の仕上げ (10. 1. 3)	2 表面の仕上げ (10. 1. 3)	2 表面の仕上げ (10. 1. 3)	5 ラグスクリュー (9. 2. 3) (9. 5. 12) χ、Z、C、D、Sマーク表示金物 種類 χ、Z、C、D、Sマークの規格 その他 ・ラグスクリュー ・ χ、Z、C、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー * 図示による	2 表面の仕上げ (10. 1. 3)
	3 釘及び木ねじの工法 (8. 5. 11)	3 釘及び木ねじの工法 (8. 5. 11)								3 釘及び木ねじの工法 (8. 5. 11)	6 ドリフトピン (9. 2. 3) (9. 5. 13) ドリフトピン 種類 材質等 径・寸法等 表面処理 ・ドリフトピン * SS400 * 丸鋼 ・	3 釘及び木ねじの工法 (8. 5. 11)	3 釘及び木ねじの工法 (8. 5. 11)	6 ドリフトピン (9. 2. 3) (9. 5. 13) ドリフトピン 種類 材質等 径・寸法等 表面処理 ・ドリフトピン * SS400 * 丸鋼 ・
	24 火打土台 (8. 6. 2)	24 火打土台 (8. 6. 2)								24 火打土台 (8. 6. 2)	7 接着剤 (9. 2. 3) ・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 ()	24 火打土台 (8. 6. 2)	24 火打土台 (8. 6. 2)	7 接着剤 (9. 2. 3) ・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 ()
	25 火打梁 (8. 7. 9) (8. 8. 6)	25 火打梁 (8. 7. 9) (8. 8. 6)								25 火打梁 (8. 7. 9) (8. 8. 6)	8 孔あけ加工 (9. 4. 4) ボルト孔の径 * 木造標準仕様書表9.4.11による 図示による ドリフトピンの孔径 * ピン径と同径 図示による	25 火打梁 (8. 7. 9) (8. 8. 6)	25 火打梁 (8. 7. 9) (8. 8. 6)	8 孔あけ加工 (9. 4. 4) ボルト孔の径 * 木造標準仕様書表9.4.11による 図示による ドリフトピンの孔径 * ピン径と同径 図示による
	26 床束 (8. 8. 2)	26 床束 (8. 8. 2)								26 床束 (8. 8. 2)	9 表面の仕上げ (9. 4. 5) (18. 13. 2) 表面の仕上げの程度 C L Tパネル * A種 ・ B種 ・木材保護塗料塗り 施工箇所 * 図示 種別 ・ A種 ・ B種	26 床束 (8. 8. 2)	26 床束 (8. 8. 2)	9 表面の仕上げ (9. 4. 5) (18. 13. 2) 表面の仕上げの程度 C L Tパネル * A種 ・ B種 ・木材保護塗料塗り 施工箇所 * 図示 種別 ・ A種 ・ B種
	27 階段 (8. 9. 7)	27 階段 (8. 9. 7)								27 階段 (8. 9. 7)	10 アンカーボルトの設置 (9. 5. 3) 埋込み深さ ・ 図示による 保持及び埋込み工法 ・ A種 ・ B種 (土台を設ける場合) 埋込み位置の許容誤差 ± 2mm ± 5mm (土台を設ける場合)	27 階段 (8. 9. 7)	27 階段 (8. 9. 7)	10 アンカーボルトの設置 (9. 5. 3) 埋込み深さ ・ 図示による 保持及び埋込み工法 ・ A種 ・ B種 (土台を設ける場合) 埋込み位置の許容誤差 ± 2mm ± 5mm (土台を設ける場合)
	11 接着剤 (8. 2. 5)	11 接着剤 (8. 2. 5)								11 接着剤 (8. 2. 5)	11 基礎天端均しモルタルの仕上げ (9. 5. 4) (15. 3. 2) 材料 ・ 木造標準仕様書9.5.4(7)による ・ 無収縮モルタル モルタルの厚さ * 図示による	11 接着剤 (8. 2. 5)	11 接着剤 (8. 2. 5)	11 基礎天端均しモルタルの仕上げ (9. 5. 4) (15. 3. 2) 材料 ・ 木造標準仕様書9.5.4(7)による ・ 無収縮モルタル モルタルの厚さ * 図示による
	12 断面加工 (8. 4. 2)	12 断面加工 (8. 4. 2)								12 断面加工 (8. 4. 2)	12 建方精度 (9. 5. 7) 建入れ直し後の建方精度の許容値 * 垂直、水平の誤差の範囲1/1,000以下、かつ 床及び壁の天端の平坦さ±3mm以下 ・ 図示による	12 断面加工 (8. 4. 2)	12 断面加工 (8. 4. 2)	12 建方精度 (9. 5. 7) 建入れ直し後の建方精度の許容値 * 垂直、水平の誤差の範囲1/1,000以下、かつ 床及び壁の天端の平坦さ±3mm以下 ・ 図示による
	13 交差点形状加工 (8. 4. 3)	13 交差点形状加工 (8. 4. 3)								13 交差点形状加工 (8. 4. 3)		13 交差点形状加工 (8. 4. 3)	13 交差点形状加工 (8. 4. 3)	
14 丸太組壁用木材の表面仕上げ (8. 4. 5) (18. 12. 2)	14 丸太組壁用木材の表面仕上げ (8. 4. 5) (18. 12. 2)	14 丸太組壁用木材の表面仕上げ (8. 4. 5) (18. 12. 2)		14 丸太組壁用木材の表面仕上げ (8. 4. 5) (18. 12. 2)	14 丸太組壁用木材の表面仕上げ (8. 4. 5) (18. 12. 2)									
15 孔あけ加工 (8. 4. 6)	15 孔あけ加工 (8. 4. 6)	15 孔あけ加工 (8. 4. 6)		15 孔あけ加工 (8. 4. 6)	15 孔あけ加工 (8. 4. 6)									
			9 C L T パネル 工 事			11 防水工事 1 F R P系塗膜防水 (11. 2. 2) (11. 2. 4) ・ ルーフドレン ・ F R P系塗膜防水用ルーフドレン ・ 鑄鉄製 ・ オーバーフロー管 * つば付き 製造所の指定する製品 ・ 下地合板の上の防火板 種類 (* ケイ酸カルシウム板) 厚さ (* 10mm) 防水層平場の勾配 * 1/100以上 水張り試験 ・ 行う 2 シーリング (11. 3. 2) (11. 3. 3) 下表以外は、木造標準仕様書表11.3.1による。(表11.3.1) ただし、外装壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書11章による。 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) シーリング材の目地寸法 * 木造標準仕様書11.3.3(1)(ア)~(ウ)による 接着性試験 * 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験								
図面番号 ()	工事名	図面種別 仕様書5	縮尺	設計・年月	担当者	設計者								

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																					
3	防水テープ (11. 4. 2)	両面粘着防水テープの幅 * 50mm以上	5	外壁乾式工法 ＜10. 2. 2＞ ＜10. 5. 2. 3＞	伸縮調整目地 位置 * 6m程度ごと シリング材の目地寸法 * 標準仕様書9. 7. 3(1) (9)による	4	有機系接着剤による タイル張り ＜11. 3. 2～5＞	タイルの形状、寸法等 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>再生材料の適用</th> <th>吸水率</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>I II III</td> <td>施ゆう 無ゆう</td> <td>有無</td> <td>標準注</td> <td>有無</td> <td>有無</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考				I II III	施ゆう 無ゆう	有無	標準注	有無	有無																					
	施工箇所	形状寸法(mm)		再生材料の適用	吸水率		うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考																																				
			I II III	施ゆう 無ゆう	有無	標準注	有無	有無																																								
4	バルコニー手すり (11. 4. 3)	バルコニー手すりの工法 * 木造標準仕様書11. 4. 3(ハ)①～⑤までによる固定方法 * 図示による	6	床及び階段の石張り ＜10. 6. 2. 3＞	金物の種類、形状、寸法等 * 標準仕様書10. 2. 4による (方式: ・ スライド方式 ・ ロッキング方式) 表10. 2. 4 アカの材質及び寸法 * ステンレス(SUS304) M10 あと施工アカの材質、寸法等() だぼ用の穴の位置 * 標準仕様書10. 5. 2(2) (7)による * 図示による 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない	14	1 材料 (14. 2. 2) 2 金属板葺 (14. 3. 2～8)	目地のシリング材 打継ぎ目地 * ボリルトン系シリング材 ひび割れ誘発目地 * ボリルトン系シリング材 伸縮調整目地 * 変成シリコン系シリング材 その他の目地 * 変成シリコン系シリング材 下地調整塗材塗りをを行うコンクリート素地の下地処理 * 目荒し工法(高圧水洗処理) ・ MOR工法 外装タイルの目地詰め ・ 行う ・ 行わない																																								
5	ケイ酸質系塗布防水 (11. 5. 1) ＜9. 6. 1、3、4＞	防水層の種類 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>* C-SUI ・ C-SUP</td> <td></td> </tr> </table> 壁及び天井部の防水層の下地 * コンクリート打ち上げ(標準仕様書6. 2. 4の種別B種) コンクリートの打ち継ぎ技か所の下地処理 * 打継ぎ部分には、幅30mm及び深さ30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーモルタルを充填する。 標準仕様書 9. 7. 3(2) (イ)、(ウ)以外の下地処理 * 図示	種類	施工箇所	* C-SUI ・ C-SUP		7	笠木、甲板等の石張り ＜10. 2. 2＞ ＜10. 7. 1、3＞	シリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地位置 * 床面積30m ² 程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他の部材と取り合う箇所 * 図示による シリング材の目地寸法 * 標準仕様書9. 7. 3(1) (9)による * 図示による	5	5 スレート葺 (14. 6. 2)	下葺材料 * 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ) * アスファルトルーフィング940 改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷対策 ・ 行う																																				
種類	施工箇所																																															
* C-SUI ・ C-SUP																																																
6	施工保証書	下記防水工事施工部分について、10年間の施工保証書を提出し、期間内に受注者の責任により漏水したときには、受注者の負担により直ちに補修することを確約する。 * FRP系塗膜防水 ・ ケイ酸質系塗布防水	8	定礎	取付け工法 ・ 湿式工法 ・ 乾式工法 特殊部位用金物 材質 * SUS304 寸法等 引金物、だぼ及びかすがい * 標準仕様書10. 2. 3による 受金物 * 標準仕様書10. 2. 2(1) (イ)による フッ素 * 標準仕様書表10. 2. 4の「スライド」方式に準ずる ・ ロッキング方式 あと施工アカの材質、寸法 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 乾式工法の場合の取付け代 * 標準仕様書10. 5. 3(2)による 石材の裏面の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない 目地 外壁湿式工法の場合 一般目地 目地幅 * 6mm以上 シリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 * 標準仕様書表11. 1. 1による * 図示による シリング材の目地寸法 * 標準仕様書9. 7. 3(1) (9)による * 図示による 乾式工法の場合 目地幅 * 8mm以上 シリング材 * 標準仕様書9. 7. 1による * 図示による	6	6 アスファルトシングル葺 (14. 7. 2)	板及びコイルの種類 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 厚さ (mm) 屋根葺形式 固定釘等の材質 * JIS G 3322の屋根用コイル ・ 平葺(一文字葺) ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺																																								
12	1 施工 ＜10. 1. 3＞ ＜10. 2. 1. 3＞	石材の割付け * 図示による ＜表10. 2. 1. 2＞	13	1 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 ＜11. 1. 3＞	位置 * 標準仕様書表11. 1. 1による * 図示による 表11. 1. 1	7	7 とい (14. 8. 2～3)	心木の防腐・防蟻処理方法() ・ 平葺(一文字葺)の工法 はげの作り方 * 図示による ・ 心木あり瓦棒葺の工法 鋼板以外の板による屋根一般部分の工法 溝板及びキャップの留付け方法 * 木造標準仕様書14. 3. 5(3) (7) (c)による 瓦棒の間隔 * 図示による 鋼板による屋根一般部分の工法 瓦棒の間隔 * 図示による ・ 心木なし瓦棒葺の工法 屋根の流れ方向に平行な壁との取合い部 ・ 雨押えを付ける場合 * 木造標準仕様書14. 3. 6(ア)による ・ 雨押えを用いない場合 * 木造標準仕様書14. 3. 6(イ)による																																								
	2 石材等 ＜10. 2. 1. 3＞	天然石 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>岩石の種類</th> <th>等級</th> <th>形状および寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>* 床</td> <td></td> <td>* 2等品</td> <td>* 正方形に近い矩形(1枚の面積0. 8m²以下)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ジエトバーナー仕上げのありなし <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種の種類</th> <th>種の大きさ(mm)</th> <th>形状</th> <th>仕上げ</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>* 大理石 ・ 花こう岩</td> <td>* 1. 5～12</td> <td>・ 平もの ・ 役もの</td> <td>・ 片面 ・ 両面</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種の種類</th> <th>種の大きさ(mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>* 床</td> <td>* 大理石 ・ 花こう岩</td> <td>* 1. 5～12</td> <td>・ 300型 ・ 400型</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料、浸透性吸水防水剤 * 専門工事業者の指定する製品		施工箇所	岩石の種類		等級	形状および寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考	* 床		* 2等品	* 正方形に近い矩形(1枚の面積0. 8m ² 以下)				施工箇所	種の種類	種の大きさ(mm)	形状	仕上げ	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考		* 大理石 ・ 花こう岩	* 1. 5～12	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面				施工箇所	種の種類	種の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考	* 床	* 大理石 ・ 花こう岩	* 1. 5～12	・ 300型 ・ 400型			2 見本焼き 試験施工	見本焼き ・ 行う * 行わない 試験張り ・ 行う * 行わない
施工箇所	岩石の種類	等級	形状および寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考																																										
* 床		* 2等品	* 正方形に近い矩形(1枚の面積0. 8m ² 以下)																																													
施工箇所	種の種類	種の大きさ(mm)	形状	仕上げ	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考																																									
	* 大理石 ・ 花こう岩	* 1. 5～12	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面																																												
施工箇所	種の種類	種の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考																																											
* 床	* 大理石 ・ 花こう岩	* 1. 5～12	・ 300型 ・ 400型																																													
3	外壁湿式工法 ＜10. 2. 2. 3＞ ＜10. 3. 2. 3＞	受金物 材質 * SUS304 形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工長さ100mm ・ L-75×75×6(mm)の加工長さ150mm アカの材質および寸法 * SS400 M12 あと施工アカの材質および寸法など () ドレンパイプの材質 ・ 樹脂製パイプ 樹脂製パイプ巻き 25～35φ 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 下地ごしらえ ・ 流し筋工法 ・ あと施工アカ工法 * あと施工アカ横筋流し工法 目地 一般目地 目地幅 * 6mm以上 シリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 * 標準仕様書表11. 1. 1による * 図示による シリング材の目地寸法 * 標準仕様書9. 7. 3(1) (9)による * 図示による	3	1 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 ＜11. 1. 3＞	位置 * 標準仕様書表11. 1. 1による * 図示による 表11. 1. 1	4	4 内壁空積工法 ＜10. 2. 2＞ ＜10. 4. 2. 3＞	2 とい (14. 8. 2～3)	工法 軒先、けらば等に曲面を設ける場合 * 半径500mm以上 雪止め ・ 設置する(図示)																																							
	4	内壁空積工法 ＜10. 2. 2＞ ＜10. 4. 2. 3＞	受金物 材質 * SUS304 形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ150mm アカの材質及び寸法 * SS400 M12 あと施工アカの材質、寸法等() 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 下地ごしらえ * あと施工アカ横筋流し工法 あと施工アカ工法 目地 一般目地 目地幅 * 6mm以上 シリング材 ・ 適用する ・ 適用しない	3	1 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 ＜11. 1. 3＞		位置 * 標準仕様書表11. 1. 1による * 図示による 表11. 1. 1	3	3 折板葺 (14. 4. 2～3)	工法 軒先、けらば等に曲面を設ける場合 * 半径500mm以上 雪止め ・ 設置する(図示)																																						
図面番号		工 事 名			図面種別		縮 尺		設 計 ・ 年 月		担 当 者																																					
()					仕様書 6						設 計 者																																					

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
	8 施工保証書	建築板金工事に係る施工保証 ・ 屋根の防水 10年間(保証箇所:) ・ 雨どい 5年間(保証箇所:) 上記期間の施工保証書を提出し、期間内に受注者の責任により漏水したときは、受注者の負担により直ちに補修することを確約する。	16 左 官 工 事	1 モルタル塗り ≪15. 3. 2、5≫ モルタル *現場調合材料・既調合材料(材料) 既製目地材 *設ける 施工箇所()形状(*図示) 床の目地 *設ける(目地割り *2m2程度(最大目地間隔3m程度)) (種類 *押し目地) ・ 設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 適用する ・適用しない	現場調査しつickいの調査及び各層の塗厚 ・ 木ずり下地 *標準仕様書表15.10.3 ・ せっこうボード下地、こまい下地 *標準仕様書表15.10.4 既調査しつickいの上塗り仕上げ工法 ・ なで切り仕上げ ・パターン仕上げ	5 網戸等 ≪16. 2. 3≫ 種類 材質 線径 網目 ・ 防虫網 *合成樹脂製 *0.25mm以上 *16~18メッシュ ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 ・ 防鳥網 ステンレス(SUS304)線材 1.5mm 網目寸法15mm					
15 金 属 工 事	1 あと施工アンカー ≪14. 1. 3≫ 適用箇所 材種 工法	引抜き耐力の確認試験 * 機械的簡易引抜き試験機による引張り試験		2 ラス系下地 ≪15. 2. 4≫ ラス系下地の種類及び材料 ・ 二層下地通気構法 (材料 ・ 波形ラス(W700) ・ こぶラス(K800) ・ 力骨付きラス(BP700) 換気口部の措置 * 木造標準仕様書11.4.3(2)による ・ 単層下地通気構法 (材料 ・ プラスチック(RC800)に裏打ち材と一体化したラス) ・ 直張り工法ラスモルタル下地(材料) ・ 直張りラスモルタル下地(材料) 建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定()	9 こまい壁塗り ≪15. 11. 2~5、7、8≫ のりの種類 土壁用ののり *つまた ・ ふのり ・ ぎんなんそう ・ 粉末海藻 砂壁用ののり *ふのり ・ つまた ・ こんにやくのり ・ にかわ ・ 合成高分子系混和剤 色土の種類 土物仕上げに用いる色土 大津仕上げに用いる色土 色砂の種類 ・ 天然砂と岩石の砕砂 ・ 人工的に着色・製造したもの 下塗りの調査 * 標準仕様書表15.11.2による 塗厚 * 標準仕様書表15.11.8による ・ 建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合() こまい壁塗りの工程種別 * A種 ・ B種 土物仕上げの工法の種類 ・ 土物仕上げ工法 ・ 水ごね土物1工法 ・ 水ごね土物2工法 ・ のりさし土物工法 ・ のりごね土物工法 ・ 砂壁仕上げ工法 ・ 切り替えし仕上げ工法 大津仕上げの工法の種類 ・ 普通大津仕上げ工法 ・ 大津みがき仕上げ工法 ちりじゃくり * 図示による	6 樹脂製建具 ≪16. 2. 5≫ ≪16. 3. 2~5≫ 性能値等 ≪表16. 3. 1~4≫ ・ 耐風圧性の等級()、気密性の等級()、 水密性の等級() * 標準仕様書表16.3.1による種別 外部に面する建具の種類(コンクリート下地及び鉄骨下地) ・ A種(・全て ・ 図示による) ・ B種(・全て ・ 図示による) ・ C種(・全て ・ 図示による) 外部に面する建具の種類(木下地) ・ D種(・全て ・ 図示による) ・ E種(・全て ・ 図示による) 防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 (・ 図示による) 断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 (・ 図示による) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・ ガラス * 図示による 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 * 図示による 表面色 * 標準色 ・ 特注色 取付工法 水切り板、ぜん板 * 図示による 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する					
	2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 ≪14. 2. 1≫ 種類 色合等 施工箇所(成形板、笠木、建具以外) * 標準色() ・ 特注色() * 標準色() ・ 特注色() 無着色	陽極酸化皮膜の着色方法 * 二次電解着色 ・ 三次電解着色		3 床コンクリート直均し仕上げ ≪15. 4. 2≫ ≪6. 2. 5≫ 平たんさの種類 施工箇所 a種 合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリアクリル(置敷式)() b種 カーペット張り、防水下地、モルタル「リング」材塗り () c種 タイル張り、モルタル塗、フリアクリル(支柱調整式) ()	7 鋼製建具 ≪16. 2. 2≫ ≪16. 4. 2~4、6≫ 性能値等(・ 図示による) ≪表16. 4. 2≫ 簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3 水密性の等級 ・ W-1 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級() ステンレス鋼板の材料 * SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 *HL以上 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ * 標準仕様書表16.4.2による 標準型鋼製建具の形式及び寸法 * 図示による						
	3 鉄鋼の亜鉛めっき ≪14. 2. 2≫ 表面処理方法 種別 施工箇所(手すり、ラック以外) 溶融亜鉛めっき ・ A種 ・ B種 ・ C種 電気亜鉛めっき ・ D種 ・ E種 ・ F種	≪表14. 2. 2≫		4 セルフレベリング材塗り ≪15. 5. 2≫ 標準塗厚(mm) * 10mm程度 ≪表15. 5. 1≫	17 建具工事 1 防火戸 ≪16. 1. 3≫ 2 見本の製作等 ≪16. 1. 4≫ 3 防犯建物部品 ≪16. 1. 6≫ 4 アルミニウム製建具 ≪16. 2. 2~5≫ 性能値等 ≪表16. 2. 1、2≫ ・ 耐風圧性の等級()、気密性の等級()、 水密性の等級() * 標準仕様書表16.2.1による種別 外部に面する建具の種類(コンクリート下地及び鉄骨下地) ・ A種(・全て ・ 図示による) ・ B種(・全て ・ 図示による) ・ C種(・全て ・ 図示による) 外部に面する建具の種類(木下地) ・ D種(・全て ・ 図示による) ・ E種(・全て ・ 図示による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (・ 図示による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級() (・ 図示による) ステンレス鋼板の材料 * SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 *HL以上 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 * 図示による 表面処理 ≪表14. 2. 1≫ 外部に面する建具 種別 ・ BB-1種 ・ BB-2種 色合等 * 標準色() ・ 特注色() 屋内の建具 種別 ・ BC-1種 ・ BC-2種 色合等 * 標準色() ・ 特注色() 結露水の処理方法 * 図示による 取付工法 水切り板、ぜん板 * 図示による 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する						
	4 軽量鉄骨天井下地 ≪14. 4. 2~4≫ 野縁等の種類 ≪表14. 4. 1≫ 屋外 (*25形) 屋内 (*19形 ・ 25形) ・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等 屋外の形状及び寸法 野縁受、つりボルト及びインサートの間隔 ・ 図示による 周辺部の端からの間隔 ・ 図示による 野縁の間隔 ・ 図示による ・ つりボルトの間隔が90mmを超える場合 補強方法 * 図示による ・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合 補強方法 * 図示による ・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 * 高さが6mを超える天井 ・ 図示による 補強方法 * 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年国土交通省告示第771号)第3第2項第二号に適合させる。 ・ 図示による	5 仕上塗材仕上げ ≪15. 6. 2≫ 仕上塗材の種類 ・ 薄付け仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 防火材料 * 外装薄塗材E ・ 適用する ・ 厚付け仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 上塗り材 防火材料 * 複層塗材E 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材の種類 防火材料 * 複層塗材E 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材の種類 防火材料 溶媒 ・ 水系 ・ 弱溶媒系 ・ 溶媒系 樹脂 ・ アクリル系(耐水性3種) ・ アクリル系(耐水性2種) ・ アクリル系(耐水性1種) ・ ふっ素系(耐水性1種) 外観 * つやあり ・ つやなし ・ 軽量骨材仕上塗材 呼び名 防火材料		8 鋼製軽量建具 ≪16. 2. 2≫ ≪16. 5. 2~4、6≫ 性能値等(・ 図示による) ≪表16. 5. 1≫ 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級() 鋼板の材料 * 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ ガラ鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板の材料 * SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 *HL以上 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ * 標準仕様書表16.5.1による 召合せ、縦小口包み板の材質 * 鋼板 標準型鋼製軽量建具の形状及び寸法 * 図示による							
	5 軽量鉄骨壁下地 ≪14. 5. 3≫ スラット、ラナの種類 ≪表14. 5. 1≫ * 標準仕様書表14.5.1によるスラットの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示による スラットの高さが5.0mを超える場合 * 図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 * 標準仕様書14.5.4.(5)による	6 マスチック塗材塗り ≪15. 7. 2≫ 種類 ・ A種 ・ B種		9 ステンレス製建具 ≪16. 2. 2≫ ≪16. 4. 2≫ ≪16. 6. 2~5≫ 性能値等(・ 図示による) 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級() ステンレス鋼板の材料 * SUS304、SUS430J1LまたはSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス製鋼板を用いる場合 *HL以上 形状及び仕上げ 表面仕上げ * HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 * ふっつう曲げ ・ 角出し曲げ(・ a角 ・ b角 ・ c角)							
	6 金属成形板張り ≪14. 6. 2、3≫ 種類 製法 形状 板幅(mm) 板厚(mm) 表面処理 種別 色合等 ・ フォム ・ 押し出し ・ ロール ・ プレス ・ シート ・ 複層系 * 標準色() ・ 特注色() 無着色	7 軽量鉄骨壁下地 ≪14. 5. 3≫ スラット、ラナの種類 ≪表14. 5. 1≫ * 標準仕様書表14.5.1によるスラットの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示による スラットの高さが5.0mを超える場合 * 図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 * 標準仕様書14.5.4.(5)による		7 ロックウール吹付け ≪15. 12. 2、3≫ 仕上げ吹付け厚さ ・ 図示 ・ 25mm	8 しつickい塗り ≪15. 10. 2、3≫ 材料 ・ 既調査しつickい(種類等) 色しつickい ・ 適用する ・ 適用しない ・ 現場調査しつickい 下地 ・ せっこうボード ・ せっこうラスボード ・ モルタル塗 ・ 木ずり ・ こまい ・ 下塗りをせっこうラスボードとし上塗りに使用する場合 既調査しつickいの場合 ・ せっこうボード下地 * 標準仕様書表15.10.1 ・ モルタル塗り下地 * 標準仕様書表15.10.2 ・ せっこうラスボード下地 * 製造所の仕様による						
7 アルミニウム製笠木 ≪14. 7. 2、3≫ 種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 ≪表14. 7. 1≫ 表面処理 種別()種 ≪表14. 2. 1≫ 色合等 * 標準色() ・ 特注色()	取付け用下地 * 標準仕様書14.4による ・ 図示による 伸縮調整継手 ・ 設ける(施工箇所 ・ 図示による) ・ 設けない	7 アルミニウム製笠木 ≪14. 7. 2、3≫ 種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 ≪表14. 7. 1≫ 表面処理 種別()種 ≪表14. 2. 1≫ 色合等 * 標準色() ・ 特注色()									
図面番号	工事名		図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者				
()			仕様書7								

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項			
19 内装工事	1 接着剤 《19. 2. 2》	施工箇所の下地が木質系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤種別 ・ 図示による	10 フローリング張り 《19. 5. 2～5》	単層フローリング 《表19. 5. 1～6》	天井のボード類(ロックール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 * 図示による 合板の張付け ・ A種 ・ B種 せっこうボードの目地工法 * 図示による	13 壁紙張り 《19. 8. 2、3》	天井のボード類(ロックール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 * 図示による 合板の張付け ・ A種 ・ B種 せっこうボードの目地工法 * 図示による	2 断熱材 《19. 9. 2、3》	2 断熱材 《19. 9. 2、3》	2 断熱材 《19. 9. 2、3》	2 断熱材 《19. 9. 2、3》			
	2 下地の工法 《19. 2. 3》	標準仕様書19. 2. 3(1) (7)～(9)以外の下地の工法 ・ 図示による		複合フローリング								壁紙の種類	断熱材の種類	
	3 ビニル床シート 《19. 2. 2、3》	種類の記号 色柄 特殊機能 厚さ(mm) 備考 * FS ・ 無地 ・ 帯電防止 * 2.0 ・ マーブル柄 ・ 耐動荷重性 ・ 柄物 ・ 防汚性		種類 工法 樹種 種別 厚さ(mm) 備考 ・ 天然木 ・ 釘留め工法(根太張り) ・ なら ・ A種 ・ 15 ・ 化粧複合 ・ 釘留め工法(直張り) ・ なら ・ B種 ・ 12 フローリング ・ 接着工法 ・ なら ・ C種 ・ 12 ・ 接着工法 ・ なら ・ A種 ・ 12 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12								種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による
	4 ビニル床タイル 《19. 2. 2》	種類の記号 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考 * KT ・ 無地 * 300×300 ・ 帯電防止 * 2.0 ・ TT ・ FT ・ 柄物 ・ 450×450 ・ 防汚性 ・ 2.5 ・ FOA ・ FOB ・ 500×500 ・ 3.0		種類 工法 樹種 種別 厚さ(mm) 備考 ・ 天然木 ・ 釘留め工法(根太張り) ・ なら ・ A種 ・ 15 ・ 化粧複合 ・ 釘留め工法(直張り) ・ なら ・ B種 ・ 12 フローリング ・ 接着工法 ・ なら ・ C種 ・ 12 ・ 接着工法 ・ なら ・ A種 ・ 12 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12								種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	
	5 特殊機能床材 《19. 2. 2》	シート種別 厚さ、形状、寸法 種類 ・ 帯電防止床シート (mm) ・ 帯電防止床タイル (mm) ・ 視覚障害者誘導用床タイル (mm) 視覚障害者誘導ブロック等の突起の形状・寸法及びその記号はJIS T 9251による ・ 耐動荷重性床シート (mm) ・ 防滑性床シート (mm) ・ 防滑性床タイル (mm)		種類 工法 樹種 種別 厚さ(mm) 備考 ・ 天然木 ・ 釘留め工法(根太張り) ・ なら ・ A種 ・ 15 ・ 化粧複合 ・ 釘留め工法(直張り) ・ なら ・ B種 ・ 12 フローリング ・ 接着工法 ・ なら ・ C種 ・ 12 ・ 接着工法 ・ なら ・ A種 ・ 12 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12								種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	
	6 ビニル幅木 《19. 2. 2》	材質の種類 * 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) * 60 ・ 75 ・ 100 厚さ(mm) * 1.5以上		種類 工法 樹種 種別 厚さ(mm) 備考 ・ 天然木 ・ 釘留め工法(根太張り) ・ なら ・ A種 ・ 15 ・ 化粧複合 ・ 釘留め工法(直張り) ・ なら ・ B種 ・ 12 フローリング ・ 接着工法 ・ なら ・ C種 ・ 12 ・ 接着工法 ・ なら ・ A種 ・ 12 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12								種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	
	7 ゴム床タイル 《19. 2. 2》	種類 ・ 単層品 ・ 複層品 色柄 () 厚さ(mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法(mm) ()		種類 工法 樹種 種別 厚さ(mm) 備考 ・ 天然木 ・ 釘留め工法(根太張り) ・ なら ・ A種 ・ 15 ・ 化粧複合 ・ 釘留め工法(直張り) ・ なら ・ B種 ・ 12 フローリング ・ 接着工法 ・ なら ・ C種 ・ 12 ・ 接着工法 ・ なら ・ A種 ・ 12 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12								種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	
	8 カーペット敷き 《19. 3. 2、3》	・ 織じゅうたん 織り方 柄の形状 帯電性 備考 ・ ウェットカーペット ・ カット柄 ・ 適用する ・ グラフタースカベット ・ ループ柄 ・ 適用しない ・ アタラクシアカーペット ・ カット、ループ併用 色柄 * 模様のない無地 柄の種類等 《表19. 3. 1》 * 標準仕様書表19. 3. 11による種別(・A種 ・B種 ・C種) 織じゅうたんの接合方法 * ヒートボンド工法 ・ つづり縫い ・ タフテッドカーペット 柄の形状 柄の長さ(mm) 工法 帯電性 備考 ・ カット柄 ・ 5～7 ・ * 全面接着工法 ・ 適用する ・ ループ柄 ・ 4～6 ・ ・ グリッド工法 ・ 適用しない ・ カット、ループ併用 ・		種類 工法 樹種 種別 厚さ(mm) 備考 ・ 天然木 ・ 釘留め工法(根太張り) ・ なら ・ A種 ・ 15 ・ 化粧複合 ・ 釘留め工法(直張り) ・ なら ・ B種 ・ 12 フローリング ・ 接着工法 ・ なら ・ C種 ・ 12 ・ 接着工法 ・ なら ・ A種 ・ 12 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12								種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	
	9 合成樹脂塗床 《19. 4. 2、3》	《表19. 4. 4、5》 種類 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 * 平滑仕上げ ・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 * 平滑仕上げ ・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 * 平滑仕上げ ・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 * 平滑仕上げ ・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 * 平滑仕上げ		種類 工法 樹種 種別 厚さ(mm) 備考 ・ 天然木 ・ 釘留め工法(根太張り) ・ なら ・ A種 ・ 15 ・ 化粧複合 ・ 釘留め工法(直張り) ・ なら ・ B種 ・ 12 フローリング ・ 接着工法 ・ なら ・ C種 ・ 12 ・ 接着工法 ・ なら ・ A種 ・ 12 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12								種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	
20 ユニットのその他の工事	1 断熱材等材料 (20. 2. 2～5)	ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 * 規制対象外 ・ 断熱材 施工箇所 * 図示	断熱材の種類 規格番号 厚さ又は使用量 分類 材料名 ・ フェルト状断熱材 ・ グラスウール ・ ロックウール ・ ボード状断熱材 ・ グラスウール ・ ロックウール ・ ビーズ法* リスレンフォーム ・ 押出法* リスレンフォーム ・ 硬質ウレタンフォーム ・ ホリスレンフォーム ・ フェノールフォーム ・ インシュレーションファイバー ・ ばら状断熱材 ・ グラスウール ・ ロックウール ・ セロースファイバー ・ 現場発泡断熱材 ・ 吹付硬質ウレタンフォームA種1 又はA種1H 又はA種1H JIS A 9521 JIS A 9523 JIS A 9526	種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による	種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法* リスレンフォーム断熱材 ・ 25 * 押出法* リスレンフォーム断熱材 (スラッシュなし) * 2種bA * 25 * 外壁 * 3種bA * 25 * 37 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による									
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者								
()		仕様書9												

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
6	可動間仕切 《20. 2. 3》	構造形式による種類 *スライド式(内蔵) *スライド式(露出) *スライドバネ式 *バネ式 構成基材の種類 *スライドバネ 総厚さ(mm) *鋼板 表面仕上げ材 *アルミ樹脂焼付又はアルミ樹脂焼付塗装 *壁紙張り 遮音性(dB/500Hz) *0 防火性能 *不燃	13	表示 《20. 2. 11》	衝突防止表示 * 設置する 形状・寸法(・ 30Φ) 材質(・ ステンル製) * 設置しない 誘導標識、非常用進入口等の表示 * 消防法に適合する市販品 室名札、ビュウグラス、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 * 図示による	22	床点検口	材質 寸法(mm) 形式 備考 *アルミニウム製 450×450 一般形 屋内外用 ・ 鍵付き *ステンル製 600×600 密閉形 屋内用 *鋼製 密閉形とは、*パ、*ナトなど*カ加構造に*パを装着したものである。 耐火性能 防水性能 備考 * 耐火型 ・ 有り * 非耐火型 ・ 無し	33	洗面カウンター	材質 * アルミニウム樹脂化粧板張り(心材:集成材) * 人工大理石 奥行き(mm) ・ 約450 ・ 約600 * 固定式 材質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備考 * 網入り磨き板ガラス * 6.8 * 500 アルミ製枠付き * 線入り磨き板ガラス
7	移動間仕切 《20. 2. 4》	走行方向 * 平行方向移動式 * 二方向移動式 操作方法による種類 * 手動式 * 電動式 * 部分電動式 正接装置の種類 * アック式 * ボトル式 * トリプル式 総厚さ(mm) * 鋼板 表面仕上げ材 * アルミ樹脂焼付又はアルミ樹脂焼付塗装 * 壁紙張り 遮音性(dB/500Hz) * 0	14	タラップ 《20. 2. 12》	材料及び仕上げ * ステンル製 SUS304 (表面処理 * 研磨なし) * 鋼製 (表面処理 * 溶融亜鉛めっき 種別C種)	23	耐震スリット	耐火性能 防水性能 備考 * 耐火型 ・ 有り * 非耐火型 ・ 無し	34	防煙垂れ壁	目地 目地材 目地寸法(mm) * 幅20×深さ10
8	トイレブース 《20. 2. 5》	表面材の種類 * アルミ樹脂系化粧板 * ステンル樹脂系化粧板 脚部 * 幅木タイプ * 製造所の仕様による ドアタイプ 材質	15	煙突ライニング 《20. 2. 13》	適用安全使用温度 * 400℃まで * 650℃まで 工法 * コンクリト打込時に打ち込む	24	止水板	形式 * 差込式 * 据置式 * 壁張り式 材質 * 塩化ビニル製(種類) * 非加硫*チルゴム製 寸法(mm) 施工箇所 * 図示による	35	収納家具	降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型) 材質、形状、寸法 * 図示による
9	手すり 《20. 2. 6》	材料の種類及び仕上げ * SUS304 (表面処理 * HL程度) * 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき(*標準仕様書14.2.2による種別(・ 種)) * アルミニウム 表面処理 標準仕様書 表14.2.11による種別() 種 色合等・標準色()・特注色() 手すりの握り部分 材質 幅(mm) 直径(mm) 取付箇所 備考 * 集成材(材種:) * クリアコート * 35程度 * 45程度 * アルミニウム製 * クリアコート * 35程度 * 45程度	16	ブラインド 《20. 2. 14》	形式 操作方法 種類 スラットの材質 スラット幅(mm) *バックラットの材質 幅・高さ 取付箇所 * 横形 * 手動 * *ギ7式 * アルミニウム合金製 * 25 * 鋼製 * 図示 * コド式 * 操作棒式 * 電動 - * 縦形 * 手動 * 2本操作 * アルミニウム合金製 * 80 * アルミニウム合金製 * 図示 * コド式 * アルミニウム合金製 * 100 * アルミニウム合金製 * 図示 * 1本操作 * コド式 * 電動 -	25	旗竿	材質 形式 高さ(mm) 操作方法 固定方法 備考 * アルミニウム合金製 * テーパー式 * アルミニウム合金製 * 埋込式 * 同一断面式 * ロープ式 * アルミニウム合金製 * ホット式	36	屋外掲示板	旗竿 材質 * ステンル製 (SUS304)
10	階段滑り止め 《20. 2. 7》	種類 * ステンル製(SUS304) * アルミニウム製 幅(mm) 取付け方法 * 約35 * 接着工法 * 埋込み工法 * あり * ナシ * アルミニウム製 * ステンル製	17	ロールスクリーン 《20. 2. 15》	材質 操作方式 遮光性能 寸法(mm) 取付箇所 備考 * アルミニウム製 * 電動式 * 1級 * 図示 * 図示 * 合成・天然繊維製 * スラット式 * 2級 * 木製 * チェーン式 * 3級	26	旗竿受金物	形式 備考 * 上下式鎖内蔵式 * 標準品 * アルミニウム製 * アルミ製 * スラット式	37	くつふきマット	材質 受け枠 備考 * 塩化ビニル製 * アルミニウム製 * アルミニウム合金製 * アルミニウム合金製 * アルミニウム製
11	黒板及びホワイトボード 《20. 2. 9》	種類 寸法(mm) 色彩 形式 * 鋼製黒板 * 焼付け * 緑 * 平面 * スクリーン付き引分け * ほうろう黒板 * 黒 * 曲面 * ホワイトボード * ほうろう 白 * スクリーン付き引分け	18	カーテン 《20. 2. 16》	形式 開閉操作 日地の種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付箇所 備考 * シンガル * 片引き * 手引き * つまみひだ * * 図示 * * ダブル * 引分け * ひも引き * 箱ひだ、片ひだ * * フレーンひだ * (暗幕)	27	車止めさく	形式 材質 柱径、肉厚(mm) 高さ(mm) * 上下式鎖内蔵式 * 標準品 * アルミニウム製 * アルミ製 * スラット式	38	階段手すり (金属工事以外)	材質 表面仕上げ 直径(mm) 取付箇所 * 集成材 * クリアコート * 35程度 * 45程度 * アルミニウム製
12	鏡 《20. 2. 10》	寸法(mm) 厚さ(mm) 取付箇所 * 図示による * 5 * 図示による	19	カーテンレール 《20. 2. 16》	材質 表面処理 * 鋼製(仕上げ:) * アルミニウム製 押出型材(市販品) 表面処理 * BC-1 * BC-2(*標準色()・特注色()) * 鋼製(仕上げ:)	28	フェンス	フェンスの種類 * アルミニウム被覆エキスパンドフェンス * 樹脂塗装メッシュフェンス * 鋼管フェンス * アルミニウムフェンス 高さ * 図示による	39	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの 見切り縁(天井見切り縁、下がり壁見切り縁)の材質 * アルミニウム既製品 * アルミニウム既製品
			20	ブラインドボックス及びカーテンボックス	溝幅×深さ(mm) * 90×150 * 120×80 * 120×150 * 150×80 * 図示による 材質 * 集成材(仕上げ:) * アルミニウム製 * 鋼製(仕上げ:)	29	プレキャストコンクリート 《20. 3. 3、4》	コンクリートの設計基準強度 * 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ³ を満足する調合強度 * 図示による 配筋 * 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 取付け方法 * 図示による	40	ピクチャーレール	壁及び下がり壁と天井の取合いの 見切り縁(天井見切り縁、下がり壁見切り縁)の材質 * アルミニウム既製品 * アルミニウム既製品
			21	天井点検口	材質 寸法(mm) 形式 外枠 内枠 * アルミニウム製 * 450×450 * 一般形 * 屋内外用 * 鋼線タイプ * 鋼線タイプ * アルミニウム製 * 600×600 * 密閉形 * 屋内用 * 目地タイプ * 目地タイプ * 気密形	30	間知石及びコンクリート間知ブロック 積み 《20. 4. 2、3》	種類 種類 質量区分 備考 * 間知石 * 花こう岩 * 凝灰岩 * * コンクリート間知ブロック * * A * B 積み方 * 谷積み * 布積み 目塗り * 図示による 伸縮調整目地 材質 厚さ * 図示による	41	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導用ブロック) 《11. 2. 2》 《19. 2. 2》	突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による
						31	鋼製書架、物品棚及び移動式書架	種類 規格等 JISによる種類 * 鋼製書架 JIS S 1039の規格による * 1種 * 2種 * 3種 * 鋼製物品棚 JIS S 1039の規格による * 4種 * 5種 * 6種 * 移動式書架 形状等は図示による	42	流し台ユニット	種類 寸法(mm) 備考 W D H * 流し台 * 1200 * 550 * 800 市販品(木製扉・木製*付) * 1500 * 600 * 850 仕上げ: * 化粧*タイプ * 1800 * 650 トラップ付き 天板ステンル製 * コンゴ台 * 600 * 550 * 620 市販品(木製扉・木製*付) * 600 * 670 仕上げ: * 化粧*タイプ * 650 *タイプ有り 天板ステンル製 * シンガルト * 換気*ト * つり戸棚 * 1200 * 450 * 500 市販品(木製扉・木製*付) * 900 * 700 仕上げ: * 化粧*タイプ * 水切り * 1200 * 900 * 600 市販品(ステンル製) * 1段式
図面番号	工事名		図面種別	縮尺	設計・年月	担当者		設計者			
()			仕様書10								

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																											
21 排水工事	1 屋外雨水排水 《21. 2. 1》	<p>材料 <<表21. 2. 1、2>></p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・透心力鉄筋コンクリート管</td> <td>* 外圧管 (1種)</td> <td>・ B形管</td> <td>* 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニール管</td> <td>・ RS-VP</td> <td></td> <td>* 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ RS-VU</td> <td></td> <td>* 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ VP</td> <td></td> <td>* 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ VU</td> <td></td> <td>* 図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>基床の厚さ及び種類 * 図示による 側境の形状及び寸法 * 図示による 排水樹の種類 * 図示による 砂地業に用いる材料 * シルト、有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂 砂利地業に用いる材料 * 再生クワツラン ・ 切込砂利又は切込砕石 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 * 18N/mm² スラブ * 15cm又は18cm 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 * SD295 排水樹が現場打ちの場合の足掛け金物 材料 * ステンレス製 ・ 鋼製 ・ 合成樹脂被覆加工を行った足掛け金物 凍上抑制層に用いる材料 砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 硬質ポリ塩化ビニール管の継手に用いる材料 * 接着剤</p>	材種	種類・記号	形状	呼び径	備考	・透心力鉄筋コンクリート管	* 外圧管 (1種)	・ B形管	* 図示		・硬質ポリ塩化ビニール管	・ RS-VP		* 図示			・ RS-VU		* 図示			・ VP		* 図示			・ VU		* 図示		22 舗装工事	1 路床	<p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</td> <td>* 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クワツラン ・ クワツラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 (標準仕様書表21.2.2による)</td> <td>* 図示</td> </tr> <tr> <td>・ フィルム層</td> <td>・ 標準仕様書22.2.3(3)による</td> <td>* 図示</td> </tr> </table> <p>凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床安定処理の方法 ・ 添加材料による安定処理 種類 * 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) 添加量 * kg/m³ (目標CBR * 3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・ 安定処理土のCBR試験 ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 * 60g/m²以上 厚さ (mm) * 0.5~1.0 引張強さ * 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水性係数 * 1.5×10⁻¹cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない</p>	種別	材料	厚さ (mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	* 図示	・ 凍上抑制層	・ 再生クワツラン ・ クワツラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 (標準仕様書表21.2.2による)	* 図示	・ フィルム層	・ 標準仕様書22.2.3(3)による	* 図示	5 カラー舗装 《22. 6. 2~4》	<p>・ 加熱系カラー舗装 構成・厚さ * 図示 加熱系混合物の結合材 ・ アスファルト混合物 ・ 石油樹脂系混合物 顔料の添加量 (%) 着色骨材 () 自然石 () ・ 常温系カラー舗装 工法 * ニート工法 ・ 塗布工法 着色部の下部 * アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装 舗装の平坦性 * 通行の支障となる水溜を生じない程度</p>	23 植栽工事	1 植栽地の確認等 《23. 1. 3》	<p>土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う ・ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <table border="1"> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">樹木</td> <td>・ A種</td> <td>樹高12m以上</td> <td>・ 葉張り部分</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>(* 100 ・ 120 ・ 150)</td> <td>・ 植栽部分</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">芝地被類</td> <td>・ C種</td> <td>樹高7m以上~12m未満 (* 80 ・ 100)</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D種</td> <td>樹高3m以上~7m未満 (* 60 ・ 80) 樹高3m未満 (* 50 ・ 60)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>植栽基盤の排水設備 ・ 設ける (* 図示による) ・ 設けない</p>	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	樹木	・ A種	樹高12m以上	・ 葉張り部分	・ 適用する	・ B種	(* 100 ・ 120 ・ 150)	・ 植栽部分	・ 適用しない	芝地被類	・ C種	樹高7m以上~12m未満 (* 80 ・ 100)	・ 図示		・ D種	樹高3m以上~7m未満 (* 60 ・ 80) 樹高3m未満 (* 50 ・ 60)			2 植栽基盤の整備 《23. 2. 2、4》	<p>・ 現場発生土の良質土 ・ 客土</p> <p>種類及び指定量等 ・ バーク堆肥 施工箇所 * 植栽範囲 ・ 図示による 使用量 植栽基盤面積1m²あたり (・ 50 L) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) 施工箇所 * 植栽範囲 ・ 図示による 使用量 植栽基盤面積1m²あたり (・ 10 L)</p>	3 植込み用土 《23. 2. 3》		4 土壌改良材 《23. 2. 3》		5 樹木 《23. 3. 2》	<p>樹種、寸法、株数等 * 図示による</p>	6 支柱 《23. 3. 2、3》	<p>支柱材 * 丸太 (間伐材) ・ 真竹 防腐処理方法 * 加圧式防腐処理丸太材 形式 * 図示による</p>	7 幹巻き用材料 《23. 3. 2》	<p>材料 * 幹巻き用テープ ・ わら及びこも</p>	8 芝 《23. 4. 2、3》	<p>種類 * コウライシバ ・ ノシバ 芝張りの工法 平地 * 目地張り ・ べた張り 法面 ・ 目地張り * べた張り</p>	9 吹付けは種 《23. 4. 2》	<table border="1"> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/m²)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>* 洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>* 発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考	* 洋芝類 (採取後2年以内)	* 発芽率80%以上			10 地被類 《23. 4. 2》	<table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>コンパ径</th> <th>単位面積当たりのコンパ数</th> <th>芽立数</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	樹種	コンパ径	単位面積当たりのコンパ数	芽立数					11 新植、芝等の枯補償 《23. 3. 4、6》 《23. 4. 7》	<p>新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間 * 引渡しの日から1年 ・ 無し</p>	12 移植樹木の枯損処置 《23. 3. 6》	<p>移植樹木の枯損処置を行う期間 * 引渡しの日から1年 ・ 無し</p>					
	材種	種類・記号	形状	呼び径	備考																																																																																																																	
	・透心力鉄筋コンクリート管	* 外圧管 (1種)	・ B形管	* 図示																																																																																																																		
	・硬質ポリ塩化ビニール管	・ RS-VP		* 図示																																																																																																																		
		・ RS-VU		* 図示																																																																																																																		
	・ VP		* 図示																																																																																																																			
	・ VU		* 図示																																																																																																																			
種別	材料	厚さ (mm)																																																																																																																				
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	* 図示																																																																																																																				
・ 凍上抑制層	・ 再生クワツラン ・ クワツラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 (標準仕様書表21.2.2による)	* 図示																																																																																																																				
・ フィルム層	・ 標準仕様書22.2.3(3)による	* 図示																																																																																																																				
植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材																																																																																																																		
樹木	・ A種	樹高12m以上	・ 葉張り部分	・ 適用する																																																																																																																		
	・ B種	(* 100 ・ 120 ・ 150)	・ 植栽部分	・ 適用しない																																																																																																																		
芝地被類	・ C種	樹高7m以上~12m未満 (* 80 ・ 100)	・ 図示																																																																																																																			
	・ D種	樹高3m以上~7m未満 (* 60 ・ 80) 樹高3m未満 (* 50 ・ 60)																																																																																																																				
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考																																																																																																																			
* 洋芝類 (採取後2年以内)	* 発芽率80%以上																																																																																																																					
樹種	コンパ径	単位面積当たりのコンパ数	芽立数																																																																																																																			
2 排水樹ふた 《21. 2. 1》	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">鋼鉄製の ホムふた</td> <td>・ 水封形</td> <td>・ T-2用</td> <td>・ 有り</td> <td rowspan="3">左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209による</td> </tr> <tr> <td>・ 簡易密閉形 (パッキン式)</td> <td>・ T-6用</td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 密閉形 (テーパーパッキン式)</td> <td>・ T-20用</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 中ふた付き密閉形 (テーパーパッキン式)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>塩ビ製</td> <td>・ RS-VU</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称	種類	適用荷重	鍵	備考	鋼鉄製の ホムふた	・ 水封形	・ T-2用	・ 有り	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209による	・ 簡易密閉形 (パッキン式)	・ T-6用	・ 無し	・ 密閉形 (テーパーパッキン式)	・ T-20用			・ 中ふた付き密閉形 (テーパーパッキン式)				塩ビ製	・ RS-VU				2 路盤 《22. 3. 2、3、5》	<p>路盤の厚さ * 図示による 路盤材料の種類 <<表22. 3. 1>> ・ クワツラン ・ 粒度調整砕石 * 再生クワツラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クワツラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</p> <p>路盤締固め度の試験 * 行う ・ 行わない</p>	6 透水性アスファルト舗装 《22. 7. 2、3、6》	<p>舗装の構成 ・ 図示による 材料 骨材 * 道路用砕石 ・ アスファルトコンクリート再生骨材</p> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 適用場所 ・ フィルム層 ・ 砂を用いる場合の凍上抑制層 舗装の平坦性 * 著しい不陸がないもの</p>	7 ブロック系舗装 《22. 8. 2、3》	<p>・ コンクリート平板舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>* 普通平板 (N)</td> <td>* 300角</td> <td>* 60</td> <td>* 砂</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・ 透水平板 (P)</td> <td></td> <td></td> <td>・ 砂利</td> <td>・ 研ぎ出し</td> </tr> <tr> <td>・ 保水性平板 (M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 洗い出し ・ たたき出し</td> </tr> </table> <p>仕上り面の平坦性 * 歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。</p>	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	* 普通平板 (N)	* 300角	* 60	* 砂	表面加工	・ 透水平板 (P)			・ 砂利	・ 研ぎ出し	・ 保水性平板 (M)				・ 洗い出し ・ たたき出し	3 グレーチング 《21. 2. 1》	<p>適用荷重 (歩行用、T-2、T-6、T-14、T-20)、形式 (受枠付きボルト固定の有無)、材料 (鋼製、ステンレス製)、用途 (溝ふた【横断用、側溝用】、樹ふた用、U字溝用)、メッシュ (細目、普通目)、上面形状 (凹凸形、平形) は、図示による</p>	3 アスファルト舗装 《22. 4. 2~6》	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ * 図示による 材料 アスファルト * 再生アスファルト (種類 * 60~80 ・ 80~100) ・ ストレートアスファルト 骨材 * 道路用砕石 * アスファルトコンクリート再生骨材</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類 <<表22. 4. 4>> ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)</p> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 * 通行の支障となる水溜を生じない程度</p>	4 街きよ、縁石及び側溝 《21. 3. 1》	<p>街きよ、縁石、側溝</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・ 縁石</td> <td>* 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ L形側溝</td> <td>* 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ U形側溝</td> <td>* 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ U形側溝ふた</td> <td>* 図示による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>* 図示による</td> </tr> </table> <p>砂地業に用いる材料 * シルト、有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂 砂利地業に用いる材料 * 再生クワツラン ・ 切込砂利又は切込砕石 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 * 18N/mm² スラブ * 15cm又は18cm 砂利地業の厚さ * 100mm ・ 図示による 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 * SD295 凍上抑制層に用いる材料 砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない</p>	種類	形状、寸法	・ 縁石	* 図示による	・ L形側溝	* 図示による	・ U形側溝	* 図示による	・ U形側溝ふた	* 図示による	・	* 図示による	4 コンクリート舗装 《22. 5. 2、4、6》	<p>コンクリート舗装の構成及び厚さ</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装</td> <td>車路及び駐車場</td> <td>図示による</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>歩行者用通路</td> <td>図示による</td> <td>* 70</td> </tr> </table> <p>寒冷地の縁部立下り寸法等 ・ 図示による 材料 <<表22. 5. 1>> コンクリート * 標準仕様書表22.5.1による 早強ポルトランドセメント ・ 使用する ・ 使用しない 注入目地材料 * 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ</p> <p>目地 <<表22. 5. 3>> 種類、間隔、構造 * 標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による ・ 図示による</p> <p>舗装の平坦性 * 通行の支障となる水溜を生じない程度</p>	舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場	図示による	図示	歩行者用通路	図示による	* 70	8 砂利敷き 《22. 9. 2》	<p>種類 ・ A種 (施工範囲: ・ 図示 ・ 通路) ・ B種 (施工範囲: ・ 図示 ・ 建築物の周囲その他)</p>	5 埋戻し土 《21. 2. 1》	<p>・ A種 * B種 ・ C種 ・ D種</p>	9 路面標示用塗料	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> <th>適用部位</th> </tr> <tr> <td>* 3種1号</td> <td>熔融</td> <td>粉体状</td> <td>・ 白</td> <td>* 150</td> <td>・ 1.0</td> <td>・ 白線</td> </tr> <tr> <td>・ 1種</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>・</td> <td>・ 100</td> <td>・</td> <td>・ 車椅子駐車場ライン、マーク</td> </tr> <tr> <td>・ 2種</td> <td>加熱</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	適用部位	* 3種1号	熔融	粉体状	・ 白	* 150	・ 1.0	・ 白線	・ 1種	常温	液状	・	・ 100	・	・ 車椅子駐車場ライン、マーク	・ 2種	加熱					
名称	種類	適用荷重	鍵	備考																																																																																																																		
鋼鉄製の ホムふた	・ 水封形	・ T-2用	・ 有り	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209による																																																																																																																		
	・ 簡易密閉形 (パッキン式)	・ T-6用	・ 無し																																																																																																																			
	・ 密閉形 (テーパーパッキン式)	・ T-20用																																																																																																																				
	・ 中ふた付き密閉形 (テーパーパッキン式)																																																																																																																					
塩ビ製	・ RS-VU																																																																																																																					
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																																																																																																																		
* 普通平板 (N)	* 300角	* 60	* 砂	表面加工																																																																																																																		
・ 透水平板 (P)			・ 砂利	・ 研ぎ出し																																																																																																																		
・ 保水性平板 (M)				・ 洗い出し ・ たたき出し																																																																																																																		
種類	形状、寸法																																																																																																																					
・ 縁石	* 図示による																																																																																																																					
・ L形側溝	* 図示による																																																																																																																					
・ U形側溝	* 図示による																																																																																																																					
・ U形側溝ふた	* 図示による																																																																																																																					
・	* 図示による																																																																																																																					
舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)																																																																																																																			
コンクリート舗装	車路及び駐車場	図示による	図示																																																																																																																			
	歩行者用通路	図示による	* 70																																																																																																																			
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	適用部位																																																																																																																
* 3種1号	熔融	粉体状	・ 白	* 150	・ 1.0	・ 白線																																																																																																																
・ 1種	常温	液状	・	・ 100	・	・ 車椅子駐車場ライン、マーク																																																																																																																
・ 2種	加熱																																																																																																																					
図面番号	工事名		図面種別	縮尺	設計・年月	担当者		設計者																																																																																																														
()			仕様書11																																																																																																																			

Table with 7 columns: 特記事項, 等級, 寸法, 含水率, 保存処理, etc. Includes sections for JAS 1083-3, 1083-4, 1083-6, and 0600 materials.

Table with 7 columns: 特記事項, 等級, 寸法, 含水率, 保存処理, etc. Includes sections for JAS 0600, 0701, 丸太材, 木質接着成形軸材料, 木質複合軸材料, 木質断熱複合パネル, 木質接着複合パネル, C.L.T., 構造用パーティクルボード, 構造用MDF, and 合板.

Table with 7 columns: 特記事項, 等級, 寸法, 含水率, 保存処理, etc. Includes sections for JAS 0360, パーティクルボード, ハードファイバーボード, パルプセメント板, 国土交通大臣の認定を受けた壁倍率の数を定められた構造用面材, 「集成材の日本農林規格」による構造用集成材, 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材, 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱, JAS 0701, JAS 1083-3, JAS 1083-4, and 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材.

Table with 7 columns: 特記事項, 等級, 寸法, 含水率, 保存処理, etc. Includes sections for 無等級材, JAS 1083-5, JAS 0600, 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたMSR枠組材, JAS 0600, 「集成材の日本農林規格」による構造用集成材, 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱, JAS 0600, 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材, 木質接着成形軸材料, 木質複合軸材料, 木質断熱複合パネル, 木質接着複合パネル, C.L.T., and 構造用パーティクルボード.

Table with 2 columns: 図面番号, 工事項目

Table with 3 columns: 図面種別, 縮尺, 設計・年月

Table with 2 columns: 担当者, 設計者

Table with 7 columns: 特記事項, 等級, 寸法, 含水率, 保存処理, etc. Includes section for C.L.T.

章 特記事項

使用材料表 4 (6軸組工法(軸構造系)工事)(6.2.3)
・「合板の日本農林規格」による構造用合板
施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 等級 板面の品質 曲げ性能(強度等級) 単板の樹種名 保存処理 間伐材等の適用

使用材料表 5 (7枠組壁工法工事)(7.2.2,3)
枠組壁用木材
・JAS 0600Iに基づく甲種枠組材
施工箇所 樹種又は樹種群 寸法型式(mm) 未乾燥材又は乾燥材の別 保存処理 等級 間伐材等の適用

図面番号 () 工事名

章 特記事項

JAS 0701Iに基づく構造用単板積層材
施工箇所 品名 樹種 寸法(mm) 曲げ性能(曲げヤング係数区分)(使用環境) 接着性能(使用環境) 水平せん断区分 保存処理 間伐材等の適用

・ハードボード
施工箇所 厚さ(mm) 油、樹脂等の特殊処理 表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 難燃性による区分 間伐材等の適用

・CLT(直交集成板)
施工箇所 品名 樹種 寸法(mm) 曲げ性能(強度等級) 接着性能(使用環境) 間伐材等の適用

図面種別 仕様書13 縮尺 設計・年月

章 特記事項

丸太組壁用木材
・機械加工の丸太組壁用木材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 含水率(%) 品質 間伐材等の適用

・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 含水率 曲げ性能(等級) 保存処理 間伐材等の適用

・JAS 0600Iに基づく甲種枠組材
施工箇所 樹種又は樹種群 等級 寸法型式(mm) 未乾燥材又は乾燥材の別 保存処理 間伐材等の適用

担当者 設計者

章 特記事項

・JAS 0600Iに基づく乙種たて継ぎ材
施工箇所 樹種又は樹種群 等級 寸法型式(mm) 間伐材等の適用

・「合板の日本農林規格」による構造用合板
施工箇所 厚さ(mm) 等級 板面の品質 曲げ性能(強度等級) 単板の樹種名 保存処理 間伐材等の適用

・CLT(直交集成板)
施工箇所 品名 樹種 寸法(mm) 曲げ性能(強度等級) 接着性能(使用環境) 間伐材等の適用

図面種別 仕様書13 縮尺 設計・年月

章 特 記 事 項 章 特 記 事 項 章 特 記 事 項 章 特 記 事 項

使用材料表9 (10木工事)(10.2.2)

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用針葉樹製材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	形状	含水率	間伐材等の適用		
			・1級 ・2級			・		
・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用針葉樹製材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	形状	含水率	間伐材等の適用		
見え掛り面			・上小節			・		
見え掛り面以外			・小節以上			・		
・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	形状	含水率	間伐材等の適用		
			・1等		・10以下 ・13以下	・		
・JAS 1083 (製材) 以外の下地用針葉樹製材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・適用する ・適用しない	・A種 ・B種	・
・JAS 1083 (製材) 以外の造作及び仕上げに用いる針葉樹製材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・適用する ・適用しない	・A種 ・B種	・
・JAS 1083 (製材) 以外の造作及び仕上げに用いる広葉樹製材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・適用する ・適用しない	・A種 ・B種	・
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数 (面)	見付け材面の品質	間伐材等の適用		
				※1等 ・2等		・		
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用		
	化粧薄板:				・1等 ・2等	・		
	芯材:							
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用		
	化粧薄板:				・1等 ・2等	・		
	芯材:							
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用			
				* 15以下	・			
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用		
	化粧薄板:				* 15以下	・		
	芯材:							
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用		
	化粧薄板:				* 15以下	・		
	芯材:							
・JAS 0701に基づく造作用単板積層材								
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	間伐材等の適用				
		・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する () ・適用しない	・				
・JAS 07101以外の造作用単板積層材								
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率 (%)	防虫処理の適用	間伐材等の適用			
		・無 () ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	* 14以下	・適用する () ・適用しない	・			

使用材料表10 (10木工事)(10.2.3)

・CLT (直交集成板)								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用		
						・		
・「合板の日本農林規格」による普通合板								
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用		
						・		
・「合板の日本農林規格」による構造用合板								
施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	強度等級の適用	間伐材等の適用
								・
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板								
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用		
						・		
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板								
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用			
					・			
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板								
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用		
						・		
・パーティクルボード								
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用			
		※13	・Pタイプ ・Mタイプ	・15	・			
・JAS 0360に基づく構造用パネル								
施工箇所	曲げ性能 (等級)	厚さ (mm)	間伐材等の適用					
	・1級 ・2級 ・3級 ・4級		・					
・MDF								
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用		
						・		

図面番号 ()

工 事 名

図面種別

縮 尺

設計・年月

担当者

設計者